PET-CT 検査（放射線被ばく）説明書

検査について

PET 検査は、体内の腫瘍・炎症に集まる薬剤（放射性薬剤）を静脈注射し、その集積の集まり方により、病変部の機能を速やかに診断する検査です。当院では、PET 装置に臓器の形状を撮影できる X 線 CT 装置を搭載しており、1 回の検査で両方の画像を重ねて表示することができます。

検査の流れについて

検査は下記の流れで進行します。
受付から検査終了までの所要時間は約 3 時間となります。
＊医師の判断で撮影を追加することがあります。

本館２階 地域連携受付 → PET 棟１階 PET 受付 → 放射線科医師診察 → 看護師問診 → 更衣 → 薬剤注射 → 待機（1 時間） → 撮影（３０分） → 安静（３０分） → 更衣 → 本館２階 会計

被ばく線量について

１回の PET-CT 検査による被ばく線量は 15～20 ミリシーベルト程度です。
全身に 100 ミリシーベルト以下の放射線量では、現在のところ、がんや白血病になる人の割合が増えているという事実は確認されていません。
むやみに連続して何度も行うようなことをしなければ、医学的に問題となる可能性はきわめて低いと考えられます。お子様の場合は、体格を考慮して大人よりも少ない投与量、少ない放射線の量で撮影するようにしています。
被ばくによる不利益より、検査により得られる情報の有益性の方が高いといえます。

検査後の諸注意について

PET-CT 検査は放射線を出すお薬を投与して検査を行っていますので、検査終了後も半日ほどは身体から多少の放射線が出ています。小さなお子様は大人に比べて放射線の影響を受けやすいので、検査当日は、念のため妊婦、乳幼児への接触は控えていただき、2～3mほど距離を置くようにお願いします。距離が離れれば離れるほど放射線の量は少なくなります。

PET に使用する検査薬について

本検査では 18F-FDG という放射性薬剤を用います。ブドウ糖とほぼ同じ性質を持ち、副作用が出ることは無いと言われています。使用期限が極めて短く、高額なお薬となります。そのため、**検査前日（土日祝日を除く）の 15 時以降のキャンセルおよびご連絡なしに来院されない場合また予約時間に遅れての来院や注意事項を守られず検査中止となった場合は当該薬剤費用（46,000 円）をご負担いただきます。**